

第8回理科教育賞ポスターセッションの投票結果:

上位5校の得票数とその内訳

総得票数185票(無効票0票)

2017年度助成校		得票数
☆ 福島県 いわき市立小名浜東小学校		14
神奈川		2
福岡		1
栃木		3
福島		8
他財団・一般(招待者)		0
神奈川県 秦野市立東小学校		13
神奈川		6
福岡		1
栃木		2
福島		4
他財団・一般(招待者)		0
神奈川県 川崎市立小学校理科教育研究会		11
神奈川		6
福岡		2
栃木		2
福島		1
他財団・一般(招待者)		0
栃木県 県立佐野高等学校附属中学校		11
神奈川		4
福岡		2
栃木		0
福島		3
他財団・一般(招待者)		2
福島県 西郷村立米小学校		11
神奈川		4
福岡		0
栃木		3
福島		4
他財団・一般(招待者)		0

以下、各校に対して頂戴したメッセージです。

福島県 いわき市立小名浜東小学校

■ 投票者からのメッセージ

- ・言語活動や地域人材の活用といった点への着目が良かった。基本的なことですが、そここそが、個性的な教育につながると思います。
- ・新学習指導要領に関連した内容となっている。
- ・子どもたちの主体性を大切にし、子どもの視点になって4つの具体的な手立てが考えられていた。子ども中心の活動を充実させることで、子どもたちが生き生きと理科の学習に取り組んでいる姿が伺えた。
- ・主体的な学びにより、思考力を高めるために取り組んださまざまな視点から取り組んでいるのが良い。

神奈川県 秦野市立東小学校

■ 投票者からのメッセージ

- ・体験活動からICTまでバランスよく活動の研究がしてありました。参考にさせていただきます。
- ・低学年からの栽培活動をきっかけとして、「自然の事象に興味関心を向け、気づく目」が養われるとともに、以後の理科の学習に対する意欲が高められると思う。また、ICT機器を効果的に活用し、結果の「見える化」が行われ、学びを高めることができていると思う。
- ・気づきの場がたくさんあり、子どもたちが興味を持って取り組める環境づくりに驚きました。
- ・地域環境のすばらしさとICT機器等の活用などがマッチングされたすばらしい実践であると感じました。「気づき」をスタート点にした主体的・対話的・深い学びの実現は、本校としても大いに参考とさせていただきます。
- ・科学的な気づきに向けたタブレットの活用に子どもの主体的な姿が見られた。
- ・理科コーナーの常設展示やわくわく理科実験教室など、児童が日常的に科学的なものに触れ合う機会を多く設定していることが非常に良いと思いました。

神奈川県 川崎市立小学校理科教育研究会

■ 投票者からのメッセージ

- ・新学習指導要領の主旨の具現化が子供の姿から分かる実践であり参考になります。
- ・新学習指導要領を見据えた実践が、大変参考になった。特に、6年部会の電気の利用に関しては、プログラミング教育を取り入れている点で、本校が現在行っている実践において、非常に参考になった。資料において、理科の見方・考え方が整理されて報告されており、今後の実践の参考にしていきたい。
- ・仮説 予想 比較がきちんとできている。わかりやすい。
- ・子どもたちに身につけさせたい力やそのための手立てが、それぞれの学年ごとに分かり

やすく示されていた。これらの手立てを実践することで、理科学習の基礎基本となる力が身につくだけでなく、子どもたちの問題解決の力の定着にもつながると思った。

- ・課題を自らが発見し設定する過程が用意されており、その探究の原動力を元に、「比較」「量的な関係の見方」「関係づけ」「条件制御」など、基本的な科学の考え方を能力開発的に身につけることができる課程が組まれている。ぜひ参考にしたいと思います。
- ・新しい学習指導要領と関連付けた研究が、これから研究に取り組む学校の模範になると思いました。

栃木県 県立佐野高等学校附属中学校

■ 投票者からのメッセージ

- ・実験結果を共有する場面でのタブレットの活用の仕方が参考になった。自校でもタブレットが配付されたので検討したい。
- ・理科の授業の中で、ICT 機器を学習の1ツールとした使い方をされ、子どもたちの考えを引き出し、さらの深まりのある学びにつなげようとしている点に興味を持ちました。
- ・実践の成果と、成果の測定方法を事前に定めている点が高く評価できる。他の学校にも参考にしてほしい。
- ・3つの仮説から実践して、生徒が主体的に学びに向かう集団を形成していることが良いと思いました。

福島県 西郷村立米小学校

■ 投票者からのメッセージ

- ・学校を取り巻く豊かな自然環境を上手に活用して、児童の自然科学への興味を高める取り組みが素晴らしいと思いました。
- ・自分の母校の研究で内容がより身近に感じました。ICT を活用した実践は本校も課題にしており、発達段階や地域性は異なりますが、大いに参考にしていきたいです。
- ・校地内にビオトープがあり、自然に親しみやすい環境である。その中で、四季を通じた自然の変化を観察や季節を比べさせることにより、自然への興味関心を高め、理科学的な考え方を身に付けることができているので大変参考になりました。
- ・学校の立地している自然条件を上手に取り入れ、その地域でしかできない活動を行うことによって、自然の事象に対する興味関心を高めていると思う。また、子供たちが、自分たちの地域に対する誇りを持つことにも役立っているように思う。
- ・恵まれた地域環境を、さらに学びとして深めようとしている。学年を経る度に、学びを成長させていく、学校全体としての方針立てが良い。
- ・自分の学校という身近な場をスタートとして、そこから校外へ対象を広げていくという手法は、子どもたちの興味・関心に合う流れになっていると感じた。その校外での学習が、授業内で実施されたのものなのか、有志が集まって行われたのものなのか等、もう少し詳しい説明があるとなお良かった。